

2008年7月2日
日立ライティング株式会社
株式会社西友

発光管と点灯回路が分離する電球形蛍光灯^{(*)1}を日立ライティングと西友が共同開発

点灯回路部の繰り返し使用で、電子部品や金属の大幅な省資源に貢献

日立ライティング株式会社(取締役社長:飯塚 健一/以下、日立ライティング)と株式会社西友(最高経営責任者:エドワード・ジェームズ・カレッジスキー/以下、西友)は、電球形蛍光灯の点灯回路部を繰り返し使用でき、省資源に貢献する、分離タイプの電球形蛍光灯を共同開発し、10月1日より全国の西友392店舗で発売します。本製品により、従来の電球形蛍光灯の特長である「省エネルギー」に、「省資源」という付加価値を実現しました。本製品は、現在使用されている家庭用白熱電球 E26 口金付の60W形からの置き換えが可能です。

■製品概要

	型式	価格	発売日
電球色	FTH15EL/13/ADE	オープン価格	10月1日
昼光色	FTH15ED/13/ADE	オープン価格	

近年、温室効果ガスの大幅な排出削減が求められるなど地球環境保全への関心が高まる中、白熱電球に比べて大幅な省エネ効果が期待できる電球形蛍光灯の需要が増加しています。そこで、次世代の電球形蛍光灯の開発を検討していた日立ライティングと、自社のサステナビリティ戦略の一環として環境配慮型商品の販売拡大を目指していた西友が協力し、分離タイプの電球形蛍光灯を開発しました。

白熱電球60W形(消費電力54W)を本製品(同13W)に置き換えた場合^{(*)2}、明るさはほぼ同じで、消費電力量を約76%削減することが出来ますので、置き換え一つにつき電気代とCO₂排出量^{(*)3}を約76%削減できます。

さらに、発光管と点灯回路が分離できる構造のため、点灯回路部を繰り返し使用することが可能となり、点灯回路で使用している電子部品や銅などの廃棄量を大幅に削減できます。たとえば、60W形の電球形蛍光灯を本製品に置き換え、30,000時間使用した場合、点灯回路の電子部品や金属の廃棄量を約70%減少できます^{(*)2}。このことにより、銅や電子部品の素材製造時におけるCO₂排出量の削減にも貢献します。また、電球形蛍光灯市場は今年度約3,800万個の見通しですが^{(*)4}、口金や電子部品に使用している銅は1個あたり約3gあり^{(*)5}、年間約115tの銅の消費に相当します。したがって、電球形蛍光灯市場の全てを本製品に置き換えて点灯回路を再利用した場合、素材製造時のCO₂排出量を約165t削減することが可能です。これは杉の木約11,600本の年間吸収量^{(*)6}に相当します。

今後、環境への意識がさらに高まり、環境配慮型商品の需要の伸びが予想される中、従来の電球形蛍光ランプよりも一歩踏み込んだ提案を行うことで販売の拡大を図り、日立、西友双方の環境への取り組みを一層強化していきます。なお、本製品は、当初6ヶ月間は西友の店舗においてのみ販売します。



*1 電球形蛍光ランプ: 口金、発光管及び点灯に必要なすべての要素部品が、容易に分解できない構造で一体化されている蛍光ランプであり、本製品は発光管と点灯回路が分離できるため、電球形蛍光ランプの分類には入りません。

*2 : 日立一般照明用電球 LW100V54W比

*3 : 1kWh = 0.39 (kg-CO₂/kWh)にて試算した場合、632kgから152kgに削減

*4 : 日立推定値

*5 : 日立電球形蛍光ランプ EFA13EL比

*6 : 杉の木1本の年間CO₂吸収量 = 14 (kg-CO₂/年)にて試算

■ 取り扱い事業部・照会先

日立ライティング株式会社 マーケティング部 [商品担当:仁藤]
〒101-0041 東京都千代田区神田須田町二丁目5番2号(須田町佐志田ビル)
電話 03-3255-5255 (直通)

■ お客様からのお問い合わせ先

日立お客様相談センター 電話 0120-3121-1111 (フリーコール)
時間: 9:00~17:30(月~土)、9:00~17:00(日・祝日)【年末年始をのぞく】

西友お客様相談グループ 電話 0120-36-0373

時間: 10:00~17:00 【年末年始をのぞく】

以上

<添付資料>

■仕様

	定格ランプ 電力(W)	寸法(mm)		質量 (g)	口金	定格電圧 (V)	全光束 (lm)	定格寿命 (時間)
		外径	全長					
電球色	13	50	155	130	E26	100	810	10,000 ※点灯回路部は 30,000 時間
昼光色							730	

■白熱電球と本製品のライフサイクル(30,000 時間使用時)での経済比較^(*1) ^(*2)

	白熱電球 (54W)	本製品 (13W)	効果
電気代	35,640 円	8,580 円	27,060 円 お得

■白熱電球と本製品のライフサイクル(30,000 時間使用時)での CO₂ 排出量比較^(*2)

	白熱電球(54W)	分離タイプ電球形蛍光ランプ(13W)	効果
CO ₂ 排出量	632kg	152kg	約 76%削減

■従来電球形蛍光ランプと本製品の使用資源量の比較(30,000 時間使用時)^(*3)

	電球形蛍光ランプ (5 個分)	分離タイプ電球形蛍光ランプ (発光部分 3 個 点灯回路 1 個)	効果
銅	約 15g	約 3g	約 80% 削減
電子部品	約 68g	約 20g	約 71% 削減
製造時のCO ₂ 排出量	約 3.4kg	約 1.0kg	約 71% 削減

ご家庭でご使用の白熱電球 5 個^(*4) を分離タイプ電球形蛍光ランプに置き換え、30,000 時間使用した場合、杉の木約 168 本分が 1 年間で吸収する CO₂ 量に相当する排出量が削減できます。同様に電球形蛍光ランプ 5 個を分離タイプ電球形蛍光ランプに置き換えると杉の木約 1 本分の CO₂ 吸収量に相当する排出量が削減できます。

*1 : 電気料金目安単価 = 22 円/kWh

*2 : 日立一般照明用電球LW100V54W比

*3 : 日立電球形蛍光ランプEFA13EL比

*4 : 白熱電球 5 個: 日立調べ (「あかりの日」に実施したアンケート結果より、家庭で使用している白熱電球の平均個数)

このニュースリリース記載の情報(製品価格、製品仕様、サービスの内容、発売日、お問い合わせ先、URL 等)は、発表日現在の情報です。予告なしに変更され、検索日と情報が異なる可能性もありますので、あらかじめご了承ください。
